

検討項目

	項目	内容
1	クールビズの実施について	議会としてクールビズの実施を行っているが、本会議場では夏期においてもネクタイ着用となっている。本会議場でもクールビズとしてはどうか。
2	議会関係書類の押印について	標準市議会会議規則の一部改正に伴い、本市議会においても全ての議会関係書類の押印の見直しについて検討する。
3	令和3年度以降におけるペーパーレス化に向けた取組	予算決算委員会分科会、常任委員会、特別委員会、広報委員会における会議資料のほか、議案書や予算・決算書等の冊子資料のペーパーレス化に向けた取組等について検討する。
4	政務活動費における人件費の見直しについて	熊本市議会政務活動費の交付に関する条例施行規程によれば、 (1)人件費の支出上限は120万円まで (2)親族の雇用は3親等までは認めない (3)賃金額は市役所臨時職員の単価を基準とする とされているが、最低賃金との関係等で課題があるため、これらのルールの見直しについて改めて検討を行うてはどうか。
5	YouTubeを活用した新たな取組	議会デジタル化を推進する取組として、今後、YouTubeを活用した委員会のインターネット放映が検討されていることから、議会の紹介動画など市民に議会をもっと知ってもらうようなYouTubeを更に活用した取組を検討してはどうか。
6	高校・大学等との連携による取組	高校生や大学生等の若年層に市政や議会への関心を高めてもらう契機として、また、議員も若い世代からの意見を議会活動に活かせるよう、学生と議員との意見交換会や模擬議会など大学と連携した取組を検討してはどうか。
要調査	WEBシステム等を活用した政務活動費収支報告書の提出について	政務活動費収支報告書については書類作成から提出までに時間を要することから、WEBシステム等を活用した報告書提出について検討してはどうか。
	議場へのスクリーン設置について	議場にスクリーンを設置し、本会議における質問の際に活用できないか。
	通年議会の開催について	新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでに様々な予算が組み立てられ執行されてきた中で、急を要する案件については臨時議会の開催もなく、専決事項として承認してきた。 しかし、議会の役割としてきちんと議論すべき事項もあり、今後、コロナだけでなく、災害等甚大な被害が予測される場合等への対応として「通年議会の開催」等の是非について、議論の必要があるのではないかと。